

日本海溝(三陸・日高沖)地震

青森県沿岸東部  
広域津波防災情報図

(引潮図)



座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最低水面(零位)  
隆起量：平均 -0.57m(-1.88m ~ 1.87m)  
Z<sub>0</sub>：0.85m  
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、  
細かな地形などの影響により、実際のものとは異なること  
がある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。

凡例

最大水位低下

- 20~最大20.9m
- 10~20m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

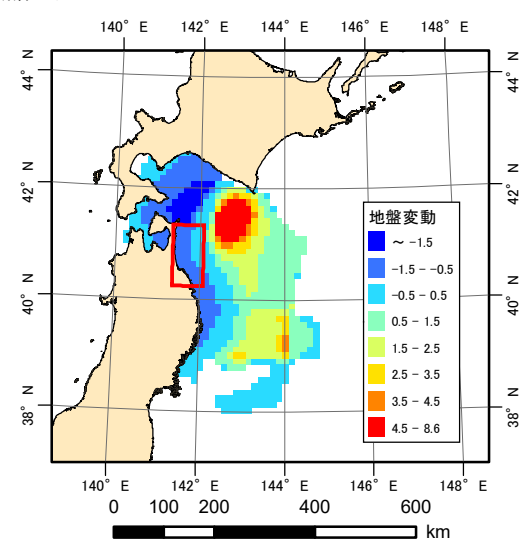
引潮時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)地震

モーメントマグニチュード Mw 9.1

本断層モデルは内閣府の「日本海溝・千島海溝巨大地震モデル検討会」で検討されたものである。

- 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁  
防災情報図作成年月：令和3年12月(初版)  
地形データ作成年月：令和3年3月(初版)

